

# 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社ニッポン 上場取引所 東  
 コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前鶴 俊哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 片岡 秀晃 TEL 03-3511-5307  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	317,446	1.6	17,768	4.0	20,631	3.9	15,577	△20.1
2025年3月期第3四半期	312,513	2.5	17,078	△5.1	19,849	△4.1	19,489	36.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 25,005百万円 (2.3%) 2025年3月期第3四半期 24,444百万円 (△5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	187.50	182.36
2025年3月期第3四半期	249.79	217.88

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	448,097	281,168	61.0
2025年3月期	399,226	246,484	60.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 273,534百万円 2025年3月期 242,140百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
2026年3月期	—	33.00	—		
2026年3月期（予想）				33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	424,000	3.2	21,500	0.1	24,500	0.4	20,200	△18.4
								258.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) 株式会社畑中食品

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	84,727,163株	2025年3月期	78,824,009株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,021,823株	2025年3月期	771,273株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	83,082,359株	2025年3月期3Q	78,024,762株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2026年3月期3Q 219,500株、2025年3月期 225,900株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2026年3月期3Q 221,633株、2025年3月期3Q 232,167株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	312,513	317,446	4,932	101.6%
営業利益	17,078	17,768	690	104.0%
経常利益	19,849	20,631	781	103.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	19,489	15,577	△3,912	79.9%

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、引き続き緩やかな回復傾向が続いております。一方で、アメリカの通商政策の動向や金融資本市場の変動に加え、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

食品業界においては、インバウンド需要の拡大や外食産業の持ち直しにより緩やかな回復基調で推移しているものの、原材料価格および物流費の高騰、物価上昇による消費者の節約志向の強まり等、当社グループの経営環境に及ぼす影響について、引き続き注意を払う状況が続きました。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、企業価値の持続的な向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間においては、収益力強化を図る取り組みとして、マーケティング戦略を家庭用から業務用まで含めた全領域へ拡大し、「消費者起点のマーケティング」を徹底することで、ブランド認知の更なる向上と収益拡大に取り組みました。併せて、国内製粉事業の基盤強化を担う知多工場の建設工事は、竣工に向け最終局面を迎えております。同工場では、大型穀物船接岸による原料調達コストの削減に加え、自動化技術やDXを活用した生産効率の向上を図り、BCPや環境にも配慮した最先端工場として、安定供給と収益性を支える体制を構築してまいります。

加えて、成長領域の拡大に向けた取り組みとして、冷凍食品の需要拡大を見据えた供給体制の増強を目的に進めている株式会社畑中食品の新冷凍食品工場建設は、2026年度末の竣工に向けて順調に進捗しております。また、本格稼働を開始したUtah Flour Milling, LLCの工場は、生産が順調に拡大し、米国市場における商品の拡売を進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、インバウンド需要の拡大やマーケティング戦略を駆使した販売促進、並びに諸コストの上昇に伴い実施した価格改定により、売上高は3,174億4千6百万円（前年同期比101.6%）となりました。利益面では各事業において原材料費や人件費、物流費を始めとした諸コストの増加があったものの、販売が堅調に推移したことにより、営業利益は177億6千8百万円（同104.0%）、経常利益は206億3千1百万円（同103.9%）となりました。一方で、前年に遊休地の売却による特別利益の計上があったことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は155億7千7百万円（同79.9%）となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

## ①製粉事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	92,766	91,825	△941	99.0%
営業利益	7,082	7,496	413	105.8%

製粉事業については、販売は堅調に推移したものの、昨年4月に外国産小麦の政府売渡価格が引き下げられたことに伴う価格改定の影響があったことにより、売上高は918億2千5百万円（前年同期比99.0%）、営業利益は74億9千6百万円（同105.8%）となりました。

なお、外国産小麦の政府売渡価格が昨年4月および10月に改定され、また物流費や人件費等が上昇していることから、昨年7月および本年1月に業務用小麦粉の価格を改定しております。

## ②食品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	181,696	185,855	4,159	102.3%
営業利益	7,766	7,919	153	102.0%

業務用食品については、インバウンド消費の拡大や海外事業が堅調に推移したこと等により、売上高は前年を上回りました。

家庭用食品については、「もちっとおいしいスパゲッティ」の販売数量伸長、並びに冷凍食品では1食完結型のトレイ入り「よくばり」シリーズ、「いまどきごはん」シリーズ等の販売数量が堅調に推移する等、マーケティング戦略の推進による販売力強化はあったものの、節約志向の強まりにより、売上高は前年を下回りました。

中食事業については、販売が堅調に推移したことや原材料等のコスト上昇に伴う価格改定を実施したことにより、売上高は前年を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は1,858億5千5百万円（前年同期比102.3%）、営業利益は79億1千9百万円（同102.0%）となりました。

## ③その他事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	38,051	39,765	1,714	104.5%
営業利益	2,291	2,390	98	104.3%

ペットフード事業については、販売数量伸長等により、売上高は前年を上回りました。

外食事業については、販売が好調に推移したこと、および価格改定を実施したことから売上高は前年を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は397億6千5百万円（前年同期比104.5%）、営業利益は23億9千万円（同104.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2025年3月期	2025年12月期	増減額
流動資産	159,014	176,946	17,932
固定資産	240,210	271,150	30,939
繰延資産	1	—	△1
資産 合計	399,226	448,097	48,870
流動負債	104,407	85,900	△18,506
固定負債	48,334	81,027	32,693
負債 合計	152,742	166,928	14,186
純資産	246,484	281,168	34,684
負債・純資産 合計	399,226	448,097	48,870

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ488億7千万円増加し、4,480億9千7百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が183億8千9百万円、投資有価証券が142億3千7百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が107億7千9百万円、その他の流動資産が78億8百万円増加したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ141億8千6百万円増加し、1,669億2千8百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が267億8千7百万円、その他の流動負債が70億4千3百万円、その他の固定負債が52億8千9百万円、支払手形及び買掛金が17億9千1百万円増加したこと、並びに1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が250億2百万円、未払法人税等が19億9千8百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ346億8千4百万円増加し、2,811億6千8百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が101億9千8百万円、その他有価証券評価差額金が100億2千5百万円、資本剰余金が64億8千6百万円、資本金が64億3千万円、非支配株主持分が33億7百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値を据え置いております。

また、配当につきましても、当初予想の1株当たり年間66円の予定から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,945	41,408
受取手形、売掛金及び契約資産	58,128	68,908
商品及び製品	26,626	29,287
仕掛品	109	674
原材料及び貯蔵品	22,687	22,347
その他	6,542	14,351
貸倒引当金	△25	△30
流動資産合計	159,014	176,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,537	47,807
機械装置及び運搬具（純額）	23,099	22,362
土地	45,862	46,297
建設仮勘定	13,022	32,604
その他（純額）	3,890	3,730
有形固定資産合計	134,412	152,801
無形固定資産		
のれん	809	1,620
その他	1,213	1,312
無形固定資産合計	2,023	2,932
投資その他の資産		
投資有価証券	85,530	99,767
その他	18,517	15,877
貸倒引当金	△271	△229
投資その他の資産合計	103,775	115,415
固定資産合計	240,210	271,150
繰延資産	1	—
資産合計	399,226	448,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,279	36,071
短期借入金	17,341	17,542
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	25,002	—
未払法人税等	3,998	1,999
賞与引当金	961	418
その他	22,824	29,868
流動負債合計	104,407	85,900
固定負債		
長期借入金	14,685	41,473
退職給付に係る負債	3,641	4,238
役員退職慰労引当金	361	350
役員株式給付引当金	102	132
その他	29,543	34,833
固定負債合計	48,334	81,027
負債合計	152,742	166,928
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,240	18,670
資本剰余金	9,758	16,244
利益剰余金	170,683	180,881
自己株式	△1,183	△1,957
株主資本合計	191,499	213,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,317	51,343
繰延ヘッジ損益	△23	42
為替換算調整勘定	5,148	4,404
退職給付に係る調整累計額	4,199	3,905
その他の包括利益累計額合計	50,641	59,695
新株予約権	115	98
非支配株主持分	4,227	7,535
純資産合計	246,484	281,168
負債純資産合計	399,226	448,097



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	312,513	317,446
売上原価	236,830	237,709
売上総利益	75,683	79,736
販売費及び一般管理費	58,604	61,967
営業利益	17,078	17,768
営業外収益		
受取利息	192	486
受取配当金	2,300	2,462
その他	700	763
営業外収益合計	3,193	3,712
営業外費用		
支払利息	186	380
持分法による投資損失	78	212
その他	157	257
営業外費用合計	422	850
経常利益	19,849	20,631
特別利益		
固定資産売却益	8,686	830
投資有価証券売却益	100	1,759
特別利益合計	8,787	2,590
特別損失		
固定資産除売却損	62	66
災害による損失	—	140
投資有価証券評価損	72	3
その他	13	58
特別損失合計	148	267
税金等調整前四半期純利益	28,488	22,953
法人税、住民税及び事業税	7,944	6,307
法人税等調整額	774	719
法人税等合計	8,719	7,026
四半期純利益	19,769	15,927
非支配株主に帰属する四半期純利益	279	349
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,489	15,577

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	19,769	15,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,172	10,040
繰延ヘッジ損益	38	66
為替換算調整勘定	473	△532
退職給付に係る調整額	△148	△293
持分法適用会社に対する持分相当額	140	△203
その他の包括利益合計	4,675	9,077
四半期包括利益	24,444	25,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,166	24,630
非支配株主に係る四半期包括利益	278	374

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	8,027百万円	8,030百万円
のれんの償却額	141	309

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	92,766	181,661	274,427	37,348	311,775	—	311,775
その他の収益	—	34	34	703	738	—	738
外部顧客への売上高	92,766	181,696	274,462	38,051	312,513	—	312,513
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,197	861	3,059	2,569	5,628	△5,628	—
計	94,964	182,557	277,521	40,620	318,142	△5,628	312,513
セグメント利益	7,082	7,766	14,848	2,291	17,140	△61	17,078

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△61百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	91,825	185,821	277,646	39,029	316,675	—	316,675
その他の収益	—	34	34	736	771	—	771
外部顧客への売上高	91,825	185,855	277,680	39,765	317,446	—	317,446
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,237	697	2,934	2,810	5,745	△5,745	—
計	94,062	186,553	280,615	42,576	323,191	△5,745	317,446
セグメント利益	7,496	7,919	15,415	2,390	17,805	△36	17,768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△36百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。